



足立敏之参院議員は23日、台風18号による大雨で被災した大分県佐伯市と津久見市を視察した。写真

真。大分県建設業協会の案内で、浸水被害があった弥生元田地区と県道佐伯津久見線、氾らんした津久見川などの状況を確認した。

井崎川が氾らんし、29世帯のうち10世帯が浸水した佐伯市弥生元田地区では、屋外に山積みになっ

## 足立参院議員

た流木や廃棄物の現状、住民らが屋内に入った土砂をかき出す作業の様子を、市街地のほぼ全域が冠水した津久見市では、佐伯市と津久見市を結ぶ県道佐伯津久見線の約80%が崩落している現場を視察した。

このほか青江川に架かる赤木橋

## 大分県内の被害 台風18号 流木災害現場を視察

の橋桁が流木により2つに折れるなど各所に被害が出ており、いずれも県の災害協定に基づき、同協会の会員企業が応急復旧を進めている。同協会津久見支部の神田敏和支部長は、「40年建設業に関わっているがこれほどの被害は見たことがない」と述べた。

視察後、足立議員は「初期段階では報道機関が入れる場所しか見ていないため、これほどの被害があるとは分からなかった」と驚きを隠せず、「災害復旧は原形復旧が原則だが、今回のように川の能力を超えていた場合は改良復旧しなければならぬ」との考えを語った。